

開沼博

現在、

立命館大学衣笠総合研究機構准教授(2016-)。

東日本国際大学客員教授(2016-)。

福島大学客員研究員(2016-)。

経済産業省汚染水処理対策委員会多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会委員(2016-)。

Yahoo!基金評議委員(2015-)。

檜葉町放射線健康管理委員会副委員長(2015-)。

経済産業省資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会原子力小委員会委員(2014-)。

これまでに、

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員(2012-2016)

早稲田大学文化構想学部非常勤講師(2014-2015)。

読売新聞読書委員(2013-2014)。

復興庁東日本大震災生活復興プロジェクト委員(2013-2014)。

福島原発事故独立検証委員会(民間事故調)ワーキンググループメンバー(2011-2012)。

等を歴任。

1984年福島県いわき市生まれ。東京大学文学部卒。同大学院学際情報学府修士課程修了。現在、同博士課程在籍。専攻は社会学。著書に『福島第一原発廃炉図鑑』(太田出版、編著)『はじめての福島学』(イースト・プレス)『漂白される社会』(ダイヤモンド社)『フクシマの正義「日本の変わらなさ」との闘い』(幻冬舎)『「フクシマ」論 原子カムラはなぜ生まれたのか』(青土社)『地方の論理 フクシマから考える日本の未来』(同、佐藤栄佐久氏との共著)『「原発避難」論 避難の実像からセカンドタウン、故郷再生まで』(明石書店、編著)など。学術誌の他、「文藝春秋」「AERA」などの媒体にルポ・評論・書評などを執筆。

第65回毎日出版文化賞人文・社会部門。

第32回エネルギーフォーラム賞特別賞。

第6回地域社会学会賞選考委員会特別賞。

第36回エネルギーフォーラム賞優秀賞。